

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	会計学		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)
この授業では会計の基礎的知識を身につけます。決算における貸借対照表と損益計算書の役割とその意味を理解することを目標とします。第1に、会計の役割と企業会計制度との関係について学びます。次に、利益計算の原則とルールについて学びます。最後に、貸借対照表と損益計算書における資産、負債、資本、収益、費用の論理とその意味について学びます。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で授業を行う。講義内容を理解できる課題を課す。

■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	会計学を学ぶポイント	会計学を学ぶことのポイントを理解する。	☐
第2回	会計とは？	会計とはどのようなものか？を理解する。	☐
第3回	財務会計の内容	財務会計の内容を理解する。	☐
第4回	我が国の企業会計制度	企業会計制度の概要を理解する。	☐
第5回	利益計算の仕組み（１）	複式簿記の仕組みを理解する。	☐
第6回	利益計算の仕組み（２）	利益計算と財務諸表の関係を理解する。	☐
第7回	利益計算のルール	利益計算のルールの必要性を理解する。	☐
第8回	損益計算書原則	損益計算書の基本ルールを理解する。	☐
第9回	貸借対照表原則	貸借対照表の基本ルールを理解する。	☐
第10回	収益（１）	企業活動と財務諸表の関係と収益認識を理解する。	☐
第11回	収益（２）	収益認識基準の適用の特徴を理解する。	☐
第12回	棚卸資産（１）	棚卸資産の原価配分の意味と計算方法を理解する。	☐
第13回	棚卸資産（２）	棚卸資産の評価の意味と計算方法を理解する。	☐
第14回	棚卸資産（３）	棚卸資産の論点を総合的に理解する。	☐
第15回	まとめ	学習内容を振り返り総括する。	☐

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)
授業内容を十分にマスターするために事前事後学習を十分に行うことが大切です。事前学習としてテキストの次回の授業内容に該当する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学修（読解・要約）を課す。また事後学習として授業中に提示した問いに対し、テキスト・参考書等を参照して2時間程度で自分なりの解答をまとめることを課す。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)
(1)提出課題は、添削・採点の上で翌週には返却します。(2)復習課題は、解説と共に解答例を提示し、全体で理解を共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	経営を取り巻く環境変化に関心を持ち、企業経営の諸課題を多面的に判断し、中長期の諸課題を考えることができる。
-------------	-----------------	---

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
60%			0%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業への取組（６０％）と課題提出（４０％）を基本として成績を評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	伊藤秀俊著 「新財務会計学 第5版」 (創成社)	9784794415479
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		